

ガールスカウトのチカラ で防災女子を増やそう！

5 ジェンダー平等を
実現しよう



ガールスカウト東京都第172団



ガールスカウトとは？

少女と女性のための団体
野外活動とボランティア

- 世界に 約1000万人
- 日本に 約4万人 100年
- 東京に 約4千人 70年



練馬区の172団は
スカウト現在19人 40年
ボランティア活動がさかんな地域団体※
※宗教や団体などの母体を持たない団

地域と国と世界に責任
を果たし、人に役立つ
ことを心がけます





タイトル ※2019年エントリー時

「防災」って環境とか福祉と違って「おじさん」ばかりだねー。



防災教育チャレンジプランに
応募するんだけど、
タイトルどうしよう？



とりあえず、「防災女子」にして、ガールスカウト（内部）としては、「(女子)をとるにはどうしたらよいか？」に取り組んだらいいかも！

防災ポーチとヘルプマーク

ガールスカウトのマイ防災ポーチとは？

外出時の災害を想定し常に持ち歩く「わたし」のためのポーチ

2018年172団は、マイ防災ポーチを持つ集会を実施、ブログで発信

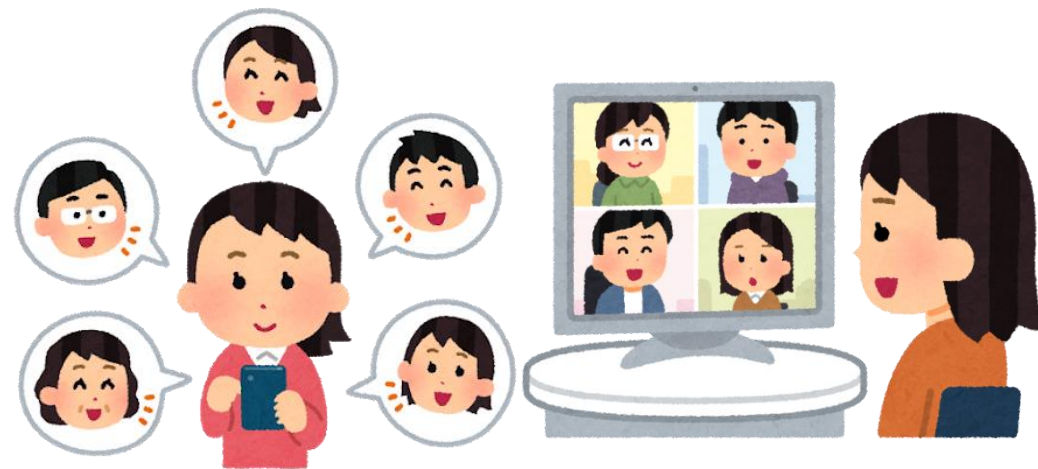
172団の防災ポーチとは？

2019年地域のお祭りで200円で100個販売販売
寄付付き商品（収益をヘルプマークを持つ人の就業施設に寄付）

当団は、防災ポーチの販売と、高校生スカウトが地域小学生に向けて主催する防災集会でエントリーした。



コロナ禍⇒方針変更



自粛期間中

自宅やオンライン会議で学び発信する

自粛期間後

スカウトがこれまで築いてきた地域やガールスカウトのネットワークを大いに活用し学び、発信する



自粛期間中

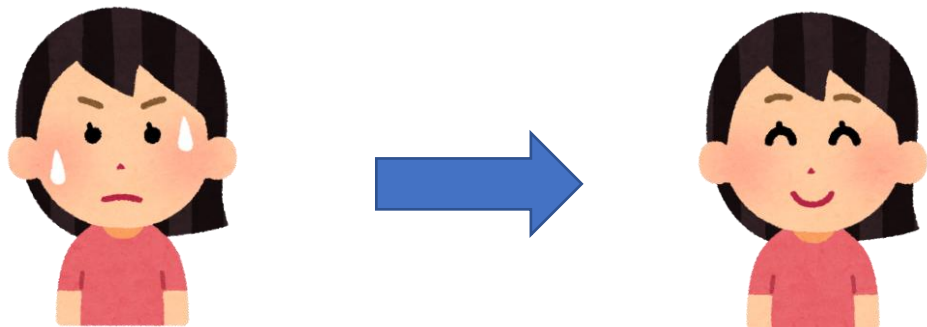
- 高校生スカウトが毎週電話会議
マイ防災ポーチの見直しと在宅避難時の食事と栄養の取り組みを
ブログで発信
- 小中学生スカウトもオンライン会議、
家庭でマイ防災ポーチ見直し

成果：リモート会議に慣れた
区SNS・広報誌に掲載された
課題：リモート、電話会議でできることは限られた



自粛期間後（夏休み以降）

自粛期間は終わったがスケジュールが合わない！



⇒やれる時にやれる人がやれることをやる

○チームレンジャー（高校生スカウト・担当指導者）

□チーム学園（スカウトとその学友）

◇チーム172（小中学生スカウト・指導者・保護者）

◎ガールスカウト日本連盟、東京都連盟事業参加

社会福祉協議会、他団体の事業に参加

◎ガールスカウト連盟事業他

◎ガールスカウト日本連盟高校生スカウト事業

#じぶんぶ にスカウトが参加

8月第5次男女参画基本計画のパブリックコメント発信

内閣府男女共同参画局「災害対応力を強化する女性の視点」を
読んで、防災章を担当

10月 #じぶんぶとして、男女参画への提言を発信

12月ガールスカウト東京都連盟オンライン事業で防災ポーチ活動呼びかけ

◎他の活動

7月オンライン研修「わいわいミーティング」参加

8月A区社会福祉協議会ボランティア参加

A区ごみ袋で作る防護服10セット寄付⇒練馬区内施設に10セット寄付

8月T区中高生向け放課後施設訪問

9月日本赤十字オンライン救急法講座受講

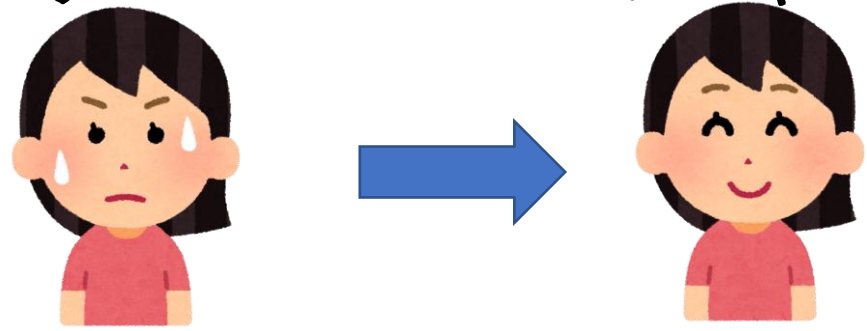
11月T区男女参画センター訪問

成果：防災ポーチ販売・こども新聞・ボランティアコンクールで学びを発信

課題：小中学生スカウトとの情報共有集会延期



○チームレンジャー



8月男女共同参画センターえーる訪問

男女参画、防災と女性を学ぶ

短い夏休みにできる防災集会は？

⇒公衆電話の使い方集会計画・実施

K区スカウトとリモート会議実施

12月東京都連盟リモート集会参加

成果：防災の多様性を学んだ

スカウトが防災集会実施

課題：他団スカウトとの連携は未発展



○チームレンジャー

小中学生スカウト向け防災集会起案、計画

2021年2月実施予定⇒延期

- ①ごみ袋による防護服作り
- ②マイ防災ポーチに黒ポリ袋追加※女性と防災啓発
- ③防災カード記入
- ④公衆電話実践

成果：高校生スカウトが女性の視点での防災集会計画

課題：集会延期⇒実施未定

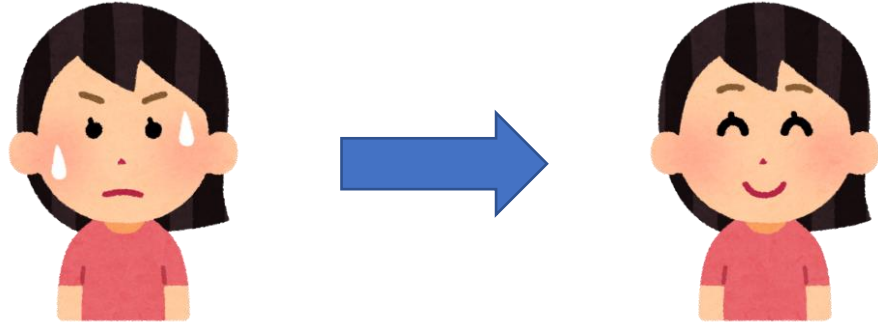
展望：地域への展開



内容	担当	詳細	出席者の氏名
防災カード記入	大塚 悠希	防災カード記入	
防災ポーチ作り	大塚 悠希	防災ポーチ作り	
公衆電話実践	大塚 悠希	公衆電話実践	
防災カード記入	大塚 悠希	防災カード記入	
防災ポーチ作り	大塚 悠希	防災ポーチ作り	
公衆電話実践	大塚 悠希	公衆電話実践	
防災カード記入	大塚 悠希	防災カード記入	
防災ポーチ作り	大塚 悠希	防災ポーチ作り	
公衆電話実践	大塚 悠希	公衆電話実践	



□チーム学園



8月防災ポーチの販売はできそうにない。

⇒地域にポスターを貼って啓発活動しよう！

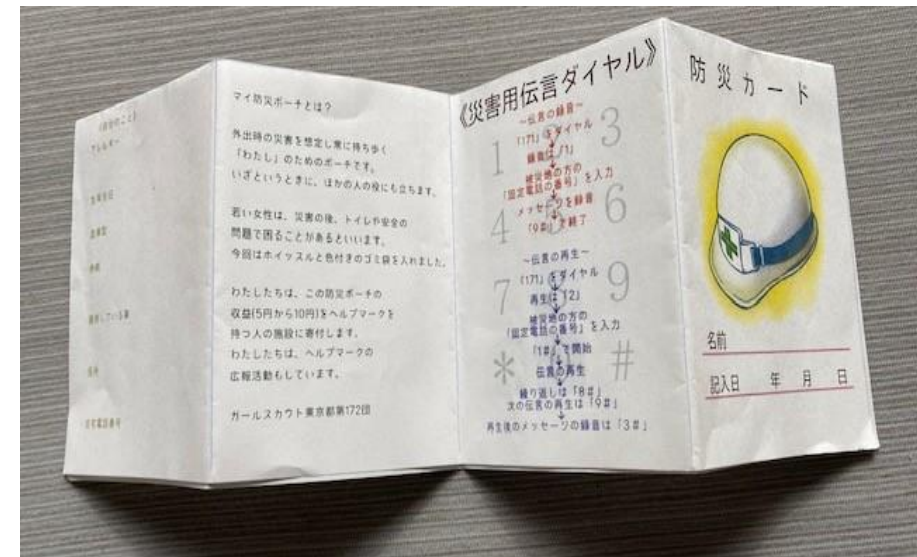
⇒ポスター製作

9月防災ポーチの販売チャンス到来！

⇒女性の視点のポーチ販売しよう！

⇒防災カードをリニューアル

女性の災害後の安全対策やトイレの準備が必要なことを書いて防災ポーチに入れて啓発活動をする



□チーム学園

9月防災ポーチ販売

ホイッスル、黒ポリ袋

新防災カード 追加

※被災後の女性の安全とトイレ対策

寄付付き商品として20個販売



成果：女性の視点のポーチ地域住民へ発信

ケーブルテレビで紹介される

課題：寄付は支援金などでこれからお届けする



□チーム学園

11月こども新聞で防災ポーチを発信

2,000部発行、行政ルートで配布

地域小学生が消防署を取材、記事作成
ボランティア記事で小学生スカウト参加
スカウト保護者が地域で配布

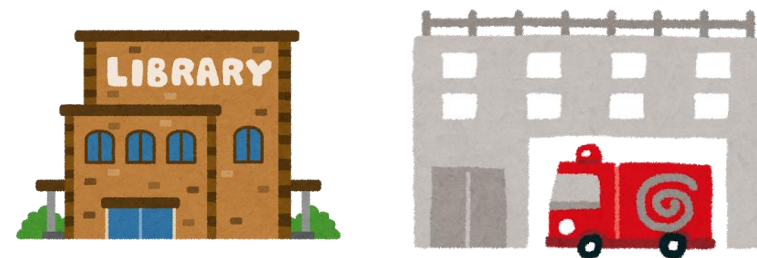
成果：活動を地域で発信した

区立図書館の蔵書になった

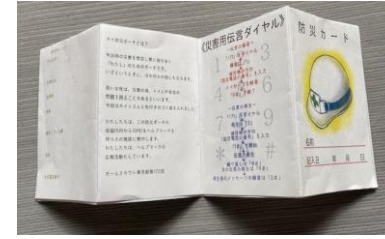
消防署で掲示された

小学生スカウトが学校で紹介

展望：小中学生スカウトの防災発信、活動継承



□チーム学園

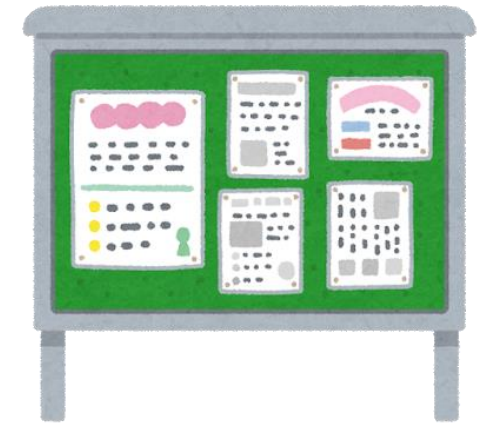


成果：ボランティアコンクールで受賞

課題：ポスターを貼る場所がない！

⇒地域こども団体指導者に相談

展望：ポスターと防災カードをチラシにする
チラシを区内店舗に置いていただく



◇チーム172

10月 都立公園で防災オリエン
テーリング実施
(小学生スカウト参加)
防災ベンチ、防災井戸、
防災トイレなどポイントに



11月 救急法集会実施
(小中学生スカウト参加)
成果：短時間でできる防災集会を
指導者が企画、実施
展望：スカウトが地域で発信する



◇チーム172

11月ロングウォーク実施 例年

小1：20km 小6以上：40km～50km

山手線、大江戸線など周回コース

ユニセフラブウォーク募金

指導者主導

今回

全員約25km 防災公園をつなぐコース

ユニセフラブウォーク募金実施

保護者と指導者が役割分担、運営マニュアル作成

成果：スカウト完歩、運営マニュアル作成

課題：高校生不参加、広報中止、運営マニュアルの検証

日付	内容	備考
11/22	石神井川ウォーク	
11/23		
11/24		
11/25		
11/26		
11/27		



2020年度の成果、課題と展望

成果

- ・スカウトがオンライン研修・集会で積極的に学び発信した
 - ・スカウトがポーチ販売、新聞などで地域に活動発信
 - ・スカウトが学友や地域団体などを活動に巻き込んだ
 - ・指導者がスカウトの活動を支援した
 - ・ケーブルテレビ、区SNS、連盟SNSなどで紹介された
- 「防災女子」から「女性の視点での防災」へ発展させた**

課題と展望

- ・2020年度防災ポーチの寄付活動
- ・高校生から小中学生スカウトへの活動の継承
- ・ガールスカウト連盟に防災教育の事例として発信する
- ・地域へ防災発信（防災ポーチチラシ、地域こども向け集会）
- ・男女参画「被災後の女性の安全」の学びと発信





ご清聴ありがとうございます。



ガールスカウト東京都第172団

